



2021年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月7日

上場会社名 株式会社ベルク

上場取引所 東

コード番号 9974

URL https://www.belc.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原島 一誠

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務経理部長 (氏名) 渡辺 修司 (TEL) 049-287-0111

四半期報告書提出予定日 2021年1月12日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第3四半期の連結業績(2020年3月1日~2020年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	209,844	19.3	9,253	30.2	9,832	29.8	6,971	36.3
2020年2月期第3四半期	175,836	5.3	7,105	1.9	7,577	4.3	5,116	9.0

(注) 包括利益 2021年2月期第3四半期 7,014百万円(37.0%) 2020年2月期第3四半期 5,121百万円(8.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第3四半期	334.11	—
2020年2月期第3四半期	245.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第3四半期	135,597	74,388	54.9
2020年2月期	126,201	69,064	54.7

(参考) 自己資本 2021年2月期第3四半期 74,388百万円 2020年2月期 69,064百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	35.00	—	41.00	76.00
2021年2月期	—	40.00	—	—	—
2021年2月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日~2021年2月28日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	282,000	17.7	11,300	8.0	12,000	8.3	8,200	12.4	392.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期3Q	20,867,800株	2020年2月期	20,867,800株
② 期末自己株式数	2021年2月期3Q	1,085株	2020年2月期	1,013株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年2月期3Q	20,866,733株	2020年2月期3Q	20,866,870株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記の業績予想の前提条件その他事項につきましては、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にありますが、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを上げていくなかで、厳しい状況から持ち直しの動きが続くことが期待されます。しかしながら、感染症が内外経済を下振れさせるリスクに十分な注意が必要であり、また、金融資本市場の変動影響等、先行き不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響に加え、消費者の節約志向が依然として続く中、業種・業態を越えた競争の激化及び困難な状況が続く人材確保等、厳しい状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、スーパーマーケットとして地域社会の人々により充実した生活を提供すべく、「Better Quality & Lower Price」を掲げ、おいしく鮮度の良い商品の販売、価格訴求及びお客さまに支持され信頼される店舗づくりを推進いたしました。

主な取り組みにつきましては、以下のとおりであります。

販売政策におきましては、感染拡大の防止策を各種講じながら営業を継続し、商品供給に努め、地域のライフラインとしての役割を果たしてまいりました。政府の緊急事態宣言解除後は、段階的にポイントカード販促の再開、商品の価格強化を実施いたしました。

また、移動スーパーの展開により、高齢者等に対する買物支援の取り組みを行いました。

商品政策におきましては、より良い産地からの商品調達、直輸入商品の開発を行うことにより、品質の良い商品をお求めやすい価格にてご提供いたしました。また、自社ブランド「くらしにバルク kurabelc (クラベルク)」の取扱いを拡大し、毎日の暮らしにうれしい商品をお求めやすい価格にて順次発売いたしました。

店舗運営におきましては、当社最大の特長である標準化された企業体制を基盤にLSP(作業割当システム)の定着化、適正な人員配置、省力器具の活用による効率的なチェーンオペレーションを推進いたしました。

店舗投資におきましては、2020年7月千葉県松戸市に「松戸河原塚店」、埼玉県和光市に「和光西大和店」、9月神奈川県秦野市に「フォルテ秦野店」、埼玉県羽生市に「フォルテ羽生店」、10月千葉県船橋市に「フォルテ船橋店」、11月千葉県佐倉市に「佐倉志津店」を新規出店し、2020年11月末現在の店舗数は122店舗となりました。また、競争力の強化及び標準化の推進のため、既存店1店舗の改装を実施し、惣菜及び簡便商品の拡充、快適なお買物空間を提供するための設備の更新を行いました。

物流体制におきましては、自社物流の強みを活かし、商品を産地やメーカーから大量一括調達することにより配送効率を高め、商品の価格強化、品質の安定化を目指しました。また、店舗作業に合わせた配送体制の見直しを引き続き行い、店舗運営の効率化に取り組みしました。

一方、2020年5月25日、連結子会社であります「株式会社ホームデリカ」第一工場(埼玉県大里郡寄居町)において、火災が発生いたしました。当第3四半期連結累計期間においては、当該火災に伴う有形固定資産及び原材料の減失損失、復旧費用等を火災損失として681百万円、火災保険金を特別利益の受取保険金として567百万円計上しております。

なお、次期の閉店が決定した店舗について減損損失35百万円及び店舗閉鎖損失引当金繰入額10百万円を特別損失に計上しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、営業収益(売上高及び営業収入)が209,844百万円(前年同期比119.3%)、営業利益が9,253百万円(前年同期比130.2%)、経常利益が9,832百万円(前年同期比129.8%)、親会社株主に帰属する四半期純利益が6,971百万円(前年同期比136.3%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ9,395百万円増加し135,597百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,789百万円増加し23,456百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が1,902百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ7,606百万円増加し112,140百万円となりました。この主な要因は、建物及び構築物が6,343百万円及び土地が2,472百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ4,072百万円増加し61,209百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ3,725百万円増加し34,701百万円となりました。この主な要因は、買掛金が2,745百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ347百万円増加し26,507百万円となりました。この主な要因は、預り保証金が518百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ5,323百万円増加し74,388百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が5,281百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における売上高は、新型コロナウイルスの感染拡大によって消費者の生活環境及び行動が大きく変化し、内食需要が高まったことから、当初の想定を大きく上回り、既存店売上高の前年同期比が13.5%増となりました。現在もなお新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見られないことから、売上高の推移は、同様の水準が続くと思われま

す。政府による緊急事態宣言の発出時には、チラシ特売及びポイント販促等の集客のための販売促進を大規模に自粛したことから一時的な利益押し上げとなりました。しかし、新型コロナウイルス感染症がさらに拡大、長期化するなか、経済に与える影響は計り知れなく、個人消費の落ち込みが予想されることからより一層の価格強化の実施、また、安心安全に営業を継続するため、感染拡大防止対策の実施及び従業員の労働環境への配慮等を講じております。さらに、今後の先行き不透明な状況に対応するため、効率的なチェーンオペレーションを実現する省力器具の導入、既存店舗のメンテナンス及び物流体制の強化等を図ってまいります。

上記の状況を踏まえ、2020年4月10日に公表いたしました2021年2月期の通期の連結業績予想の修正を行っております。詳細につきましては、本日発表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、今後においても、新型コロナウイルス感染症が経済活動に与える影響は不透明な状況であり、景気や個人消費の動向を踏まえ、業績予想の見直しが必要になった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,523	9,426
売掛金	3,579	2,868
商品及び製品	6,714	7,591
原材料及び貯蔵品	131	128
その他	3,719	3,442
流動資産合計	21,667	23,456
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	51,963	58,306
土地	30,498	32,970
その他(純額)	7,870	6,428
有形固定資産合計	90,331	97,705
無形固定資産		
投資その他の資産	1,413	1,375
繰延税金資産		
繰延税金資産	1,978	1,906
差入保証金	7,870	8,118
その他	2,995	3,092
貸倒引当金	△56	△56
投資その他の資産合計	12,788	13,059
固定資産合計	104,533	112,140
資産合計	126,201	135,597

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	15,179	17,924
短期借入金	800	800
1年内返済予定の長期借入金	5,026	5,432
リース債務	1,146	966
未払法人税等	2,199	1,136
賞与引当金	965	348
役員賞与引当金	83	60
ポイント引当金	357	385
店舗閉鎖損失引当金	—	10
その他	5,218	7,636
流動負債合計	30,975	34,701
固定負債		
長期借入金	14,868	15,065
リース債務	1,971	1,269
役員退職慰労引当金	225	173
退職給付に係る負債	406	370
預り保証金	3,863	4,381
資産除去債務	4,249	4,720
その他	576	526
固定負債合計	26,160	26,507
負債合計	57,136	61,209
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,912	3,912
資本剰余金	4,102	4,102
利益剰余金	61,411	66,693
自己株式	△2	△2
株主資本合計	69,424	74,706
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△14	△6
退職給付に係る調整累計額	△345	△311
その他の包括利益累計額合計	△359	△317
純資産合計	69,064	74,388
負債純資産合計	126,201	135,597

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年11月30日)
売上高	173,888	207,690
売上原価	129,350	155,311
売上総利益	44,537	52,378
営業収入	1,947	2,153
営業原価	1,031	782
営業総利益	45,454	53,749
販売費及び一般管理費	38,349	44,496
営業利益	7,105	9,253
営業外収益		
受取利息	30	28
受取配当金	1	1
受取事務手数料	345	424
固定資産受贈益	65	—
受取退店違約金	—	8
債務勘定整理益	15	21
貸倒引当金戻入額	0	—
その他	99	174
営業外収益合計	558	659
営業外費用		
支払利息	78	68
その他	7	11
営業外費用合計	86	79
経常利益	7,577	9,832
特別利益		
移転補償金	129	—
店舗閉鎖損失引当金戻入額	6	—
固定資産売却益	—	0
資産除去債務戻入益	—	14
受取保険金	—	567
特別利益合計	135	581
特別損失		
固定資産除却損	102	30
減損損失	—	35
災害による損失	19	—
火災損失	—	681
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	10
特別損失合計	121	759
税金等調整前四半期純利益	7,591	9,655
法人税、住民税及び事業税	2,117	2,629
法人税等調整額	358	54
法人税等合計	2,475	2,683
四半期純利益	5,116	6,971
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,116	6,971

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年11月30日)
四半期純利益	5,116	6,971
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7	7
退職給付に係る調整額	12	34
その他の包括利益合計	5	42
四半期包括利益	5,121	7,014
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,121	7,014
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。